

フィックスシリーズ 速硬・高靱性ポリマーセメントモルタル

エレホン フィックス ZS

フィックスZSはポリプロピレン繊維を配合し、靱性、曲げ強度、引張強度などを向上させた速硬性ポリマーセメントモルタルです。ポリプロピレン繊維の適量配合により、初期ひび割れの低減や、ひずみ分散作用で有害なひび割れを防ぎます。又、弊社独自の作業性改善技術により、短繊維高配合にも関わらず、優れたコテ塗り作業性を有し、更には吹付け施工も可能にしています。

特長

- ▶ **優れたコテ塗り作業性** ポリマーセメントモルタル特有のコテ塗り時のベタツキを無くしたため、短繊維高配合にも関わらず、優れたコテ塗り作業性を有し、ダレにくく、厚塗りが可能です。
- ▶ **作業効率** 速硬タイプであるため、塗り継ぎまでの待ち時間が短く、冬場でも作業効率が上がります。
- ▶ **断面修復による補強効果** 曲げ強度や靱性が高く、断面修復後の構造物の曲げ荷重に対する抵抗力が高まります。又、応力緩和作用が高く、振動や風荷重等を受ける用途においても、剥がれやひび割れが起りにくくなっています。
- ▶ **ひび割れの抑制・分散効果** 短繊維高配合による引張り強度向上で初期ひび割れが抑制され、短繊維が連続的に絡み合うことにより応力集中を防ぎ、ひび割れを小さく分散させる効果があります。
- ▶ **耐衝撃性** 短繊維量が多いため、衝撃吸収能力が高く、割れや剥がれを抑制します。
- ▶ **耐摩耗性** 超微粒子が微細な気孔を充填するため組織が緻密化し、耐摩耗性が向上しています。

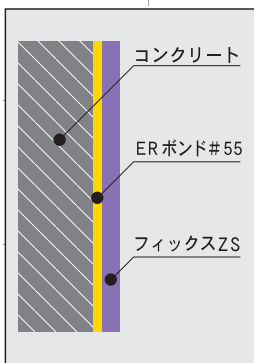
用途

- ▶ **水利構造物の補修、補強** 農業用水路、発電用導水路、取水堰堤及び排砂路等
- ▶ **コンクリート橋等の補修、補強** 橋台及び橋脚、床版、高欄等
- ▶ **その他コンクリート構造物の断面補修及び補強** 通行車両等による変動荷重を受ける構造物、モーター等振動発生源周辺構造物等

配合及び材料使用量

配合	粉体	25kg
	Z混和液	1kg
	Zファイバー	135g
	水	3.2～3.7kg
塗り厚別材料使用量 (kg/m ²)	5mm	9.0
	10mm	18.0
	20mm	36.0
	30mm	54.0
練上り量		14.5ℓ
積算比重		1.80
1m ³ 使用量		1,803kg (69セット)

●施工図



●荷姿 (26.135kgセット)

- ・粉体 25kg
- ・Z混和液 1kg
- ・Zファイバー 135g



●使用上の注意

- ・Z混和液(特殊高分子エマルジョン)以外の樹脂は使用しないで下さい。
- ・他のセメント、骨材、混和剤等の混入は避けて下さい。
- ・配合は規定通りに行い、過度の混練は避けて下さい。(混練時間3～5分程度)

施工要領

1. 下地処理

脆弱部や付着物の除去、亀裂処理等断面修復材の性能が低下しないよう十分な下地処理を行なう。

2. 接着剤塗布

下地と断面修復材との接着を高めるため、ERボンド#55を塗布する。

3. 混練

・ハンドミキサー混練

容積が20ℓ以上の円形容器にZ混和液及び水3.2~3.7kgを入れる。次に粉体を半分投入し、ハンドミキサーで混練しながらZファイバーの半分を入れ、さらによく混練する。その後、残りの粉体を投入し、混練しながら残りのZファイバーを入れ均一に混練する。

・モルタルミキサー混練

モルタルミキサーの性能に見合った量の粉体を投入する。混ぜながらZ混和液及び水を入れる。2分程度混練した後、混練しながらZファイバーを少しずつ入れ、その後3分程度混練する。途中、ミキサー側壁に付着した粉体やZファイバーをコテ等で落とす。

4. 塗り付け

ERボンド#55に糸を引くようなタックが出た段階でフィックスZSを塗り付ける。深い凹部がある場合は、先にその部分を充填する。薄く擦り付けた後に所定の厚みに塗り付ける。(1層の厚みは最大20mm)モルタルの締り状態を点検し、適宜に金コテを用いて表面を平滑かつ緻密に仕上げる。

■安全上の注意

目、皮膚等への接触や吸引を避けるため、適切な保護具(手袋、長靴、保護眼鏡、防塵マスクなど)を着用して下さい。

■応急処置

吸入した場合

速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が収まらなければ医師の手当てを受けて下さい。

皮膚に付着した場合

速やかに水で十分に洗い落とす。痛みがあったり炎症を起こした場合は医師の手当てを受けて下さい。

目に入った場合

清浄な水で15分以上洗眼した後、眼科医の診断を受けて下さい。

飲み込んだ場合

清浄な水で口の中を良く洗浄し、速やかに医師の手当てを受けて下さい。

性能

項目	材 齢	試験結果	試験方法
曲げ強度 (N/mm)	5時間	3.5	JIS A 1171 (ポリマーセメントモルタルの試験方法)
	1日	4.7	
	28日	12.1	
圧縮強度 (N/mm)	5時間	11.5	JIS A 1171 (ポリマーセメントモルタルの試験方法)
	1日	17.7	
	28日	46.2	
接着強度 (N/mm)	28日	2.9	建研式
割裂引張強度 (N/mm)	28日	5.1	JIS A 1113 (コンクリートの割裂引張試験方法)
曲げ靱性係数 (N/mm)	28日	3.9	JSCE G 552 (鋼繊維補強コンクリートのタフネス試験方法)
静弾性係数 (kN/mm)	28日	20.5	JIS A 1149 (コンクリートの静弾性係数試験方法)
熱膨張性係数 ($\times 10^{-5}/^{\circ}\text{C}$)	28日	1.04	JIS K 6911(熱硬化性プラスチック一般試験方法) 温度範囲(-20~60℃)
透水量 (g)	28日	1.2	JIS A 1404(建築用セメント防水材試験方法) 水圧及び時間:0.3N/mm \times 1時間
摩耗量 (g)	28日	2.8	JIS K 7204(摩耗輪による摩耗試験方法) 輪荷重:9.8N 摩耗輪:H-22 1000回転
長さ変化率 (%)	28日	水中養生	JIS A 1129 ⁻³ (ダイヤルゲージ法) モルタル及びコンクリートの長さ変化試験方法
		気中養生	
表面水分量 (%)	1日	7.0	高周波容量式水分計 塗り厚20mm:温度20℃
	2日	6.8	

●本資料について

・本資料の技術情報は、当社の試験・研究に基づいたもので、信頼しうる情報と考えられます。

しかし、記載の諸性能および特性などは、施工条件などにより本資料と異なる結果を生じることがあります。

・本資料の記載事項は予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

代理店



特殊セメントの分野を大きくリードする

エルホン・化成工業株式会社
EREWHON

<http://www.erewhon.co.jp/>

●本社・工場	〒870-0141	大分県大分市三川新町1-2-23	TEL (097) 552-2251	FAX (097) 552-2213
●いわき工場	〒979-3112	福島県いわき市小川町上平字中平30-3	TEL (0246) 83-2600	FAX (0246) 83-2677
●大阪支店	〒564-0063	大阪府吹田市江坂町2-12-50	TEL (06) 6388-6585	FAX (06) 6388-6561
●福岡支店	〒814-0151	福岡県福岡市城南区堤1-9-10	TEL (092) 874-6990	FAX (092) 862-6398
●関東・東支店	〒340-0055	埼玉県草加市清門町2-4-8-3	TEL (048) 951-1987	FAX (048) 951-1988
●仙台支店	〒984-0012	宮城県仙台市若林区六丁の目中町6-2	TEL (022) 287-7221	FAX (022) 287-7222
●名古屋支店	〒463-0048	愛知県名古屋市中区小幡南3-5-21	TEL (052) 758-1889	FAX (052) 758-1890
●札幌営業所	〒007-0805	北海道札幌市東区東苗穂5条3-2-32	TEL (011) 786-6051	FAX (011) 786-6052
●盛岡営業所	〒020-0838	岩手県盛岡市津志田中央3-6-11	TEL (019) 681-9531	FAX (019) 681-9532
●新潟営業所	〒950-0925	新潟県新潟市中央区弁天橋通3-1-31	TEL (025) 286-6260	FAX (025) 286-6263
●関東・北営業所	〒320-0056	栃木県宇都宮市戸祭2-5-5	TEL (028) 680-6313	FAX (028) 680-6323
●関東・西営業所	〒224-0064	神奈川県横浜市都筑区平台1-9-24	TEL (045) 306-6200	FAX (045) 949-2015
●北陸営業所	〒920-0027	石川県金沢市駅西新町2-11-25	TEL (076) 204-9417	FAX (076) 204-9418
●神戸営業所	〒652-0032	兵庫県神戸市兵庫区荒田町3-75-1	TEL (078) 599-6630	FAX (078) 599-6631
●広島営業所	〒739-1731	広島県広島市安佐北区落合2-41-22	TEL (082) 841-2350	FAX (082) 841-2360
●北九州営業所	〒807-0801	福岡県北九州市八幡西区本城1-19-1	TEL (093) 616-8470	FAX (093) 616-8471
●熊本営業所	〒861-8045	熊本県熊本市東区小山2-1-4-7	TEL 050-3399-7419	FAX (096) 388-6227
●鹿児島営業所	〒890-0082	鹿児島県鹿児島市紫原1-5-1-25	TEL (099) 284-0533	FAX (099) 284-0535
●株エレホン・技研本社	〒781-0270	高知県高知市長浜1-9-3	TEL (088) 805-2332	FAX (088) 841-2322
●株エレホン・技研松山営業所	〒791-8042	愛媛県松山市南吉田町1408-1	TEL (089) 974-8225	FAX (089) 974-8230